



JCSS

総数2頁の1頁
証明書番号 31-K1414

校正証明書

依頼者名	ツタバロカセイキ株式会社
住所	茨城県つくば市栗2-3-26地
品名	デジタル圧力計 (デジタル気圧計)
型式	3TU
製造番号	162572
製造メーカー	SETRA SYSTEMS INC.
校正項目	気圧絶対圧力
校正方法	JQA校正基準書に準じた器具番号 2314610
校正結果	次の公差の範囲内
校正年月日	2018年8月23日
校正実施場所	愛知県北名古屋市栗田(山崎23番地の1) 一般財団法人 日本品質保証機構 中部試験センター 中部試験所 計量部 標準校正室

校正結果は以上のとおりであることを証明します。

2018年8月28日

愛知県北名古屋市栗田(山崎23番地の1)
一般財団法人 日本品質保証機構
中部試験センター

部長 田中 賢



この証明書は、計量法第14条第1項に規定するものであり、特定標準器具の定期検定により校正した結果を示すものです。

信頼性による承認を以て、この証明書のコピーは、他が一部のみを複製して使用することを禁じます。当センターは、JQA/JCSS [JQA/JCSS] 第17号校正機関として認定されています。

校正結果

校正圧力値 (mbar)	表示値 (mbar)		拡張不確かさ (mbar)	包含係数 k
	昇圧	降圧		
850.00	850.02	850.02	0.15	2
851.00	851.02	850.03	0.15	2
900.00	900.02	900.03	0.15	2
950.00	950.06	950.04	0.15	2
1000.00	1000.04	1000.06	0.15	2
1013.00	1013.04	1013.04	0.16	2
1050.00	1050.01	1050.01	0.16	2
1100.00	1100.03	1100.04	0.17	2

拡張不確かさは、上記の包含係数kから決定したもので、約95%の区間の水準をもつと推定される値を定める。

1. 校正条件

- ・ 校正は標準器との比較測定により行われた。
- ・ 圧力値は絶対圧力であり、気象圧を圧力補正値とした。
- ・ 校正開始前に予備圧試験を行った。
- ・ 測定は昇圧・降圧の両面を行った。
- ・ 各測定点では、サンプリング間隔1秒で30データを取得し、その平均値を計算に出いた。昇圧時、降圧時それぞれについて、上記3回の平均から、表示値を算出した。
- ・ 圧力保持時間は90秒とした。
- ・ 電源はAC 100Vで、2時間以上の連続校正を行った。
- ・ 表示値は、圧力導入口の高さを基準レベルとした値である。
- ・ 校正を実施したときの校正室の環境条件
 温度：22.1℃～22.2℃
 相対湿度：56%～57%
 大気圧：1005 hPa～1007 hPa

2. 使用した標準器等

〔圧力コントローラ〕

(型式)
7252

(製造番号)
0793

特記事項：校正品の受取後、確認及び調整を行わず校正を実施した。

以上